

第4章 わたしたちの暮らしと生物多様性



藤君と蓮子ちゃんはある日、野生のアライグマとそうぐうしました。今、羽島市では野生動物が畑の作物を食べるなどの被害が起きています。外国から来た動物が増え、環境が悪化し、昔からいた生き物がなくなっています。

みなさんの身近にいる生き物について調べてみましょう。

覚えよう！生物多様性

さまざまな生き物が、わたしたち人も含め^{ちよくせつてき}直接的、^{かんせつてき}間接的に関わり合いながら生きていることを生物多様性と言います。

自然の中で生きている動物、植物からわたしたちは食料に衣服、木材や薬の原料など、たくさんのめぐみを受けています。しかしごみの増加やポイ捨て、不法投棄などの環境悪化や、外来生物、地球温暖化などの悪影響などから生物多様性が失われています。

生き物を守ることは、わたしたちの暮らしを守ることにつながっていきます。

在来生物

もともとその地域に生息していた生物。在来種ともいいます。地球温暖化などの自然環境の悪化や外来生物の影響などで数を減らし、絶滅の恐れがある生物もあります。

羽島市に生息し、数を減らしている生物



イタセンパラ



ミナミメダカ



カヤネズミ

外来生物

人間によって他の国や地域から持ち込まれ、野生化した生物。外来種ともいいます。外来生物の中でも特に在来生物を脅かし、わたしたちの生命、農業等に被害を与える生き物は法律で特定外来生物に規定されています。

羽島市で発見された特定外来生物



アライグマ



オオクチバス
(ブラックバス)



ヌートリア



セアカゴケグモ



カミツキガメ

特定外来生物は法律で次の事が禁止されています

- ・ ペットとして飼うことや繁殖させること。
- ・ 許可なく人にあげたり、販売すること。
- ・ 外に逃がしたり、放つこと。【外で捕まえた動物を、その場ですぐ逃がすことは除外（釣りのキャッチ・アンド・リリースなど）】
- ・ 許可なく別の場所に運ぶこと。



外来生物を増やさず、在来生物や私たち自身を守るために

①野生動物にエサなどを与えない。

②ペットは責任を持って最後まで飼う。

⇒アライグマは元々ペットとして飼われていたものが野生化した動物です。

③野生動物には不用意に触らない。

⇒感染症のリスクがあるため、もし触ってしまったらきちんと消毒しましょう！

④毒グモ、ヒアリなど、もしも危険な生き物を発見したらすぐに

羽島市役所（TEL：058-392-9952）か、岐阜地域環境室（TEL：058-272-1920）に

連絡してください。早急な駆除が繁殖防止につながります。



生物多様性を考えよう！～スズメがいなくなったら～

皆さんの身近にはたくさんの生き物がいます。もしその生き物がいなくなったら何が起こるでしょうか。

身近にいる生き物、スズメで見てください。

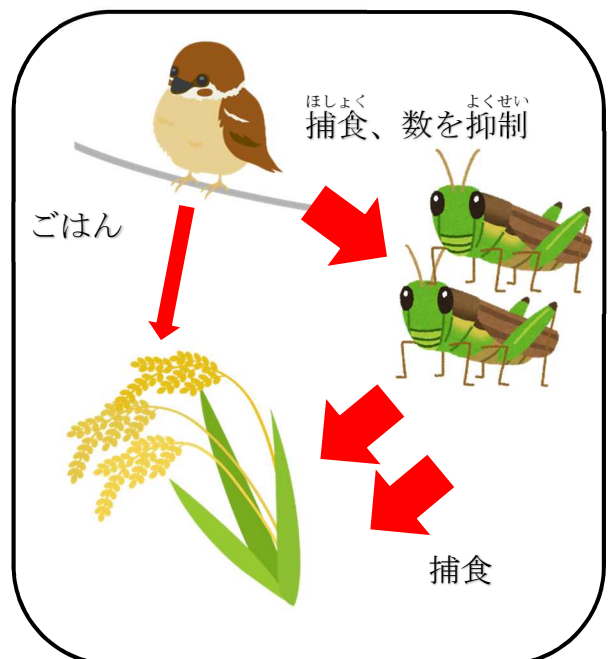
昔、中国では、スズメはお米を食べる悪い鳥だとして、一斉に^{くじょ}駆除を行い、億単位のスズメが駆除されました。すると何が起こったのでしょうか？



スズメは確かにお米も食べますが、それ以外にもお米などの作物を食べるバッタなどの虫をたくさん食べていました。そのためスズメがいなくなったことでバッタなど

の虫が大発生してしまい、^{だいききん}大飢饉（作物が育たず、食べるものがなくなってしまうこと）が発生しました。多くの人が食べるものがなくなり、困り果てました。

皆さんの身近にはたくさんの生き物が暮らしています。そのすべての生き物がわたし達自身と直接的、間接的につながっていることを理解していきましょう。



日本に生息している次の生き物が、もしもいなくなったら何が起こるかみんなで考えてみよう！

ヒント

①ミツバチ

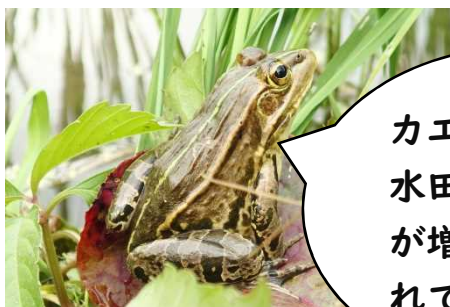
世界の作物の7割はハチが受粉を行っているとの報告があるよ。



②カエル

ヒント

カエルのいない水田は稲の虫害が増えると言われているよ。



ある有名な物理学者が、
ミツバチが絶滅したら、
4年後に人類も滅ぶと言
っていたそうだよ。



③、④はチャレンジ問題。
作物を食べたり、人に被害
を与えることもある動物だ
けど考えてみよう！



難しいよ！

③シカ



④クマ

